

申請者	学科名	デザイン学部 造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	関崎 哲 印
調査研究課題	感光性樹脂版を用いたプリンティング表現の研究					
交付決定額	200.000					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	関崎 哲	デザイン学部 造形デザイン学科	版画、絵画		
	分 担 者					
調査研究実績 の概要	<p>1 研究実績の概要</p> <p>本年度の目的として計画で示した、「学生向けの感光性樹脂版を用いた一連の行程理解のためのワークショップを開催する」「感光性樹脂版を用いた一連の行程を、学生向けマニュアルとして完成させる」ことについては、添付した資料の通りマニュアルを制作し、学部学科基礎科目「印刷基礎」の授業の中で、感光性樹脂版を用いた印刷・版表現の作品を制作した。その結果、昨年度報告した内容から、一步踏み込み「自然光による感光性樹脂版の露光製版工程を具体的に示すマニュアルを作成することができた。</p> <p>また、もう一つの目的として設定した「効率よく感光性樹脂版を用いた一連の行程が行なえるように、設備を整える」に関しては、昨年6月25日に感光性樹脂版の露光製版工程体験を目的とした高校生体験授業を学部棟3512印刷室2教室にて実施し、これまでの予算によって購入した備品ほかの設備の実作業に関する稼働環境をチェックすることもできた。現状の設備環境において、関わる人数によっては、工程的に滞りが見られるものの、自然光による露光とトミフレックスによる露光を平行して行うことで人を振り分け、スムーズな作業に向け改善して行ける見通しが立った。</p> <p>2 研究成果を用いた活動の成果</p> <p>2-1 高校生体験授業実技講座「樹脂版を使ったスタンプデザイン」 (2013.6.29) デザイン学部棟 3512 印刷室 2 * 詳細は添付資料</p> <p>デザイン分野に興味を持つ高校生対象にした、スタンプ作りを目的におこなったデザインワーク体験講座である。パターン作成の基本的な手法の理解に加えて、感光性樹脂版という初めての素材の特性を理解してもらうために、自然光による露光とトミフレックスを用いた露光を経験してもらった。</p>					

<p>調査研究実績 の概要</p>	<p>2-2 岡山県立美術館ワークショップ「県美スタンプ工房～名宝展に生き物を探せ～ (2013. 8. 10) 岡山県立美術館研修室 * 詳細は添付資料</p> <p>展示作品の中に生き物を見つけるといったいつもと異なる鑑賞の方法を試み、見つけたものの形をもとにスタンプを作るという内容である。スタンプの素材に「感光性樹脂版」を用い、自然光による露光の後、製版・スタンプ制作を行った。</p> <p>* この取り組みに関しては、後日研究報告の形でまとめ、紀要に報告する予定である。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>1 自然光による感光性樹脂版の露光・製版マニュアル 2 高校生体験授業 (2013. 6. 29) 実技講座実施報告資料 3 岡山県立美術館ワークショップ (2013. 8. 10) 実施報告資料</p>